

第2次守山市食育推進計画の策定にあたって

守山市では、平成23年3月に守山市食育推進計画を策定し、「“わ”でつながる笑顔いっぱい守山の食育」を基本理念として、市民一人ひとりが自ら心身の健康を保持するため、「食」について自ら考え、正しい「食」行動を実践し、豊かな人間性を育むことを目指してまいりました。



この間、国において第2次食育基本計画、県において滋賀県食育推進計画（第2次）が策定され、本市においても、生涯を通じた食育の推進や生活習慣病の予防のための食育の推進、家庭における食育の推進などに取り組んでまいりました。

一方で、食品加工技術や流通などの発展、人口増加により外食産業や中食産業などの食に関する産業の発展はめざましく、私たちの食を取り巻く社会環境、食に関する価値観や意識、ライフスタイルの変化・多様化に大きな影響を与えています。

便利な食生活は反面、「こ食」の促進、個人の調理技術・地域の食文化の衰退、栄養バランスの乱れによる生活習慣病の増加、食の安全・安心の保障の問題など多くの課題も抱えています。また、世帯構造の変化や就業スタイルの多様化などさまざまな要因により、健全な食生活の実践や食文化の継承が困難な場面が増えていることもこれらの問題の要因の一つになっています。そして、これらの社会環境の変化は今後も進展していくことが予想されます。

こうした中、第2次守山市食育推進計画は、自らの命と健康の源である「食」とどのように向き合っていけばよいのかということについて今一度見直し、基本理念を「食べて学んで育もう みんなの食育の『わ』」としました。年齢、性別や生活環境を問わず、すべての人が食にかかる体験や学習を通じて主体的に食育を推進することや、これらの個人の食育の推進を家庭だけではなく地域、団体、企業、行政といった関係機関が協働して支えることで、市民一人ひとりが自分に合った食育を進め、食を営む力や生きる力を育み、生涯にわたって心身ともに健やかに過ごせることを願っております。

市民の皆さまをはじめ、地域・団体・食に関わる企業の皆さまにも、この計画の内容をご理解いただき、あらゆる機会を通じて食育に積極的に取り組んでいただけるようお願い申し上げます。

最後に、この計画策定にあたりましてご尽力いただきました守山市健康づくり推進協議会委員の皆さま、ならびに貴重なご意見をいただきました関係団体や市民の皆さま方に厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

守山市長 宮本和宏